

この旅のメインイベント

→大導師はこんなに燃え盛っている火の中を渡りました。ただただ驚くばかりです。修行を積まなければいけません。修行の賜物です!!



ウチナーデインダー 沖縄伝道



平成十九年二月二十四日～二十六日 五つの島を巡る(シンナー織)



① 往大 「沖縄伝道行くよ。」
「え!! 沖縄? 家族?」
「それはリゾート。青い空、ふりそぐ陽差し、エメラルドグリーンの海。そしてゆたろ流れる時間。ステキ♥」
② 往中 「沖縄といえば、テストで琉球王国の首都はどこですか? という問題が出たから、首里と答えられたよ。ホッ!」
③ 往中 「首里城には行くの?」
④ 往中 「行くよ。」
⑤ 往中 「ぼくも社会で習ったよ。沖縄はサウキビガとれるんだよね。」
⑥ 往中 「水着は持って行く? 泳げるでしょ。」
⑦ 往中 「向こうはこちらの5~6月頃の陽気らしいから、まだ泳げないね。」
⑧ 往中 「飛行機 乗るでしょ。」
⑨ 往中 「飛行機にも船にも水牛車にも乗るゾ」
⑩ 往中 「沖縄が日本の国になら? 復帰してまた25年なんだね。」
⑪ 往中 「沖縄が日本の主権を認めたのは、日清戦争の後。それまでは、1つの国として、いろいろな国と交流が多く、独特の文化、歴史を刻んできました。日清戦争の後、太平洋戦争でアメリカ軍政下におかれるけれど、1972年に、沖縄は日本に復帰した。復帰はしたけれど、米軍基地の問題など、まだいろいろ問題は残っているのね。太平洋戦争前の歴史については殆んど知らなかったわ。また、まだ知らないことだらけ。」
⑫ 往中 「そうだね。沖縄の歴史はあまり知られていないね。近隣諸国との交流によって宗教も独特なんだよ。」
⑬ 往中 「聞いた話では沖縄の先祖供養は、人がとくなると(菩提寺というわけではない)お寺へ連絡して坊さんを呼んで葬式をする。植家制度がなく、宗派の意識も低い為、葬式が終われば坊さんは用無しになってしまう。初七日や法事は、親族が集まりお墓の前でユタという聖的機能を備えた人が、取り仕切り、行うそうだ。」
⑭ 往中 「沖縄のお墓って大きいんだよ。」
⑮ 往中 「清明祭という、春になるとお墓の前で一族そろってピクニックのようにごちそうを食ったり飲んだりする先祖崇拝の行事があるんだよ。そのために、みんなが料理をたぐって座る位、大きいんだよ。」
⑯ 往中 「沖縄に伝わる独自の信仰を叩いていくことはとても大切だし、決して途絶えることなく、伝えたいかなければなりません。」
⑰ 往中 「とは言え、沖縄の人達に『仏教を信仰する善信の一端』を感じてもらえるよう、今回の旅『平和への誓い』大柴灯護摩供養火生三味法要を厳修したんだよ。」



沖縄の豆知識①
日本語 aieo が
沖縄語 aiuiui になります。例えは
・おちや → うちや
・あめ → あみ
・そば → すば
という具合に変化



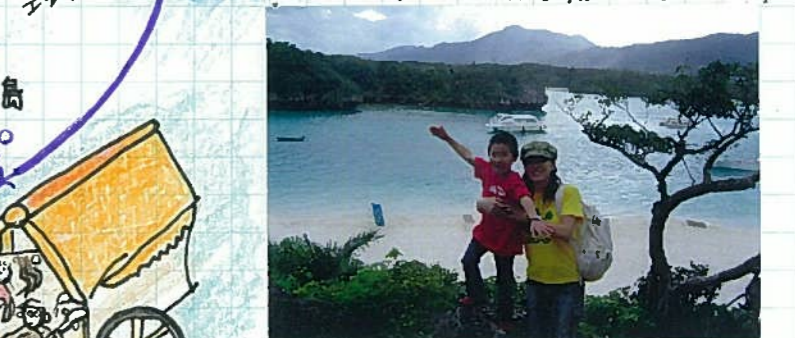
→そして一般の人達はキレイさっぱり灰まじり掃き除かれた土の上を渡ります。私は不覚にモストックを12行してはい渡り事ができませんでした。ワヤシ……。他の5人は渡れました。

2日目

那覇 → 石垣 → 西表島 (由布島) (仲間川遊覧・水牛車)

① 往中 「川平湾の景色は見事でした。近くのお土産物店で見つけた『ハグ油』ものすごくくさい。くさいのがマンして両腕に塗りつけた。(花米分のせいかと注カユイのぞろ) こころ塗りました。1・2日はそんなに変わりませんでした。3日目はいぶかユイがとれました! 交果有ですが、くさい。」

② 往中 「川平湾の景色は見事でした。近くのお土産物店で見つけた『ハグ油』ものすごくくさい。くさいのがマンして両腕に塗りつけた。(花米分のせいかと注カユイのぞろ) こころ塗りました。1・2日はそんなに変わりませんでした。3日目はいぶかユイがとれました! 交果有ですが、くさい。」



ガイドさんおすすめの早稲スポーツ「川平湾にて」

③ 往中 「日本最大のササキの木の仲間川遊覧はダイナミックなジャングルクルーズが体験できる。想像していたのとは全然違う。当時はササキの葉が目に刺さってました。でもジジイは大きかった。」



★大黒の一押し★
那覇から石垣に飛行機の中でサービスされた黒糖煉乳。大きさは2cm四方。普通の黒糖と違いカリカリしててむせない。とて食べ易くやめられない。あまりに美味くて取り寄せた程(上地屋098-998-6240)
←こちらが沖縄特産黒糖を使用した沖縄限定プリッツ。長さ10cmという短かさで1パックに6箱入り。子どもの友達にお土産と思いましたが、これもおいしくて、みんな我が家でも食べました。



編集後記
弘濟寺の檀家さんから何件か「沖縄伝道」について問い合わせがありました。(遠ざか? お値下げ? の為?) 幸あれど参加しました。「火渡り法要」の日には天気に恵まれ、現地の方の参加も多かったです。全国各地からは300名以上の人が参加し、とても盛大でした。日程が詰まっていた(2日目は陸地にいた時間、たったの2時間、残りはお土産の移動時間。トホ……。)大変でしたが、近隣寺院の檀家さんとお近づきになれて、有意義に楽しく過ごせました。今回参加できなかった皆さん、火渡り法要は小田原の満福寺さんで毎年1月28日に行なわれます。是非参加してみたいか? ⑤



「亀甲墓」(カヌク) 内部は小さいものでも6~8畳もあるそうです。すごく大きい!!



「屋形墓」

④ 往中 「今回の旅にはいろいろな深い意味があるのね。」
でえくのうちのびまーまあよあ〜(沖縄語)
(だいきのおちやのじかんですよ)
ギョウ認定 三味線音楽 世界の雪塩使用 ちんちん 塩味があじびく。
ドロツとしていかにモチモチに食さそうな味 飲みやすい味はおいしいが...という味 わかります?
PRETZ 沖縄限定